

製品名: ATP5J2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07337**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:10000

分子量

抗原情報

遺伝子名	ATP5J2
別名	ATP synthase f chain mitochondrial; ATP5JL; ATPK
遺伝子 ID	9551.0
SwissProt ID	A6ND55
免疫原	抗血清はヒト ATP5J2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 21-70

背景

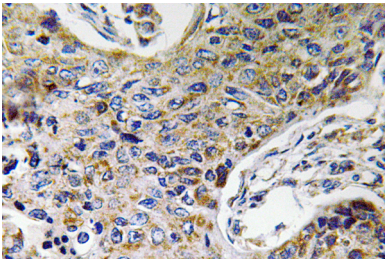
ミトコンドリア ATP 合成酵素は、酸化的リン酸化反応中に内膜を横切るプロトンの電気化学的勾配を利用して ATP 合成を触媒します。この酵素は、可溶性の触媒コアである F1 と、プロトンチャンネルを構成する膜貫通構成要素である Fo という、2つの連結した多

サブユニット複合体で構成されています。ミトコンドリア ATP 合成酵素の触媒部分は、5つの異なるサブユニット (α 、 β 、 γ 、 δ 、 ϵ) から構成され、 α サブユニット3個、 β サブユニット3個、および γ サブユニット、 δ サブユニット、 ϵ サブユニットの代表的サブユニット1個という化学量論で組み立てられています。プロトンチャネルは、おそらく9つのサブユニット (α 、 β 、 γ サブユニット、 δ サブユニット、 ϵ サブユニット) から構成されています。ATP5J2 (ATP 合成酵素、H⁺輸送、ミトコンドリア Fo 複合体サブユニット F2) は、Fo 複合体の f サブユニットをコードします。ATP5J2 には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが同定されています。ATP5J2 には複数の偽遺伝子が存在します。また、ATP5J2 と下流のペントトリコペプチドリピードドメイン 1 (PTCD1) 遺伝子との間にも、自然発生的なリードスルー転写が存在します。プリンヌクレオチド代謝過程、プリンヌクレオチド生成過程、ATP 生成過程、イオン輸送、陽イオン輸送、水素輸送、ヌクレオシド三リン酸代謝過程、ヌクレオシド三リン酸生成過程、プリンヌクレオシド三リン酸代謝過程、プリンヌクレオシド三リン酸生成過程、プリンリボヌクレオチド代謝過程、プリンリボヌクレオチド生成過程、ヌクレオチド生成過程、リボヌクレオシド三リン酸代謝過程、リボヌクレオシド三リン酸生成過程、プリンリボヌクレオシド三リン酸代謝過程、プリンリボヌクレオシド三リン酸生成過程、リボヌクレオチド代謝過程、リボヌクレオチド生成過程、一価無機陽イオン輸送、プロトン輸送、核酸塩基、ヌクレオシドおよびヌクレオチド生成過程、核酸塩基、ヌクレオシド、ヌクレオチドおよび核酸生成プロセス、窒素化合物の生成プロセス、ATP 代謝プロセス、

研究分野

酸化的リン酸化;

画像データ



パラフィン包埋ヒト肺癌組織における ATP5J2 抗体の免疫組織化学分析。